

月刊

各務原市議会議員 大竹 大輔

— いつまでも住み続けたいまち かかみがはら! —

バンブーレター

令和
5年

12月号

発行人
大竹大輔を育てる会



令和5年も残すところ1ヶ月です



颶清会 PFASの課題について調査



毎年この頃になると思うことは、
もう12月?です。
年齢と共に時間の流れを早く感じ
る今日この頃です。皆さまはどう
うでしょうか?

11月24日に開催された大竹大輔を育てる会第2回研修会では多くの皆さまにご参加いただき誠にありがとうございました。

皆さまと楽しい秋のひと時を過ごさせていただき、思い出に残る一日となりました。

令和6年も研修会を2回開催する予定でございます。日程など決まりましたら、バンブーレターやホームページにてご案内させていただきます。さて、11月28日から令和5年最後の定例会が始まりました。今期定例会も私たちの生活に直結する大切な議案ばかりです。颶清会メンバーとともに一つ一つの議案を慎重に審査して参ります。コロナ禍時のようないいきがはら!」に向け邁進して参ります。

そして、少し早いですが、本年も大変お世話になりました。健やかな年末年始をお過ごしください。



▲はやて通信はこちら



▲大竹大輔HPはこちら

颶清会では、国内では一番古くからPFASの課題に取り組んできた沖縄県の北谷浄水場の高度浄水処理を調査して参りました。限られた水源をより安全に提供するため、活性炭による浄化設備の他、オゾン処理など多くの先進事例等を調査し、その内容は本市の水道部に報告させていただきました。

颶清会では、この調査を踏まえ、本市のPFAS対策に対し、第一期工事で行つた既存の浄水施設に活性炭を設置する暫定的な対策では、PFAS濃度は国の暫定目標値を厳守することなど市に対し要望を出させていただきました。

詳細については、颶清会会報「はやて通信」をご覧ください。



